

2020年6月18日
東海旅客鉄道株式会社

東海道新幹線 実車を用いた異常時対応訓練の実施について

東海道新幹線では、大規模災害や不測の事態の発生に備えて社員の対応能力を向上させるため、各現業機関での通常の教育訓練に加え、本線における実際の新幹線車両を活用した実践的な大規模訓練を実施しています。

今回は、豪雨により長時間運転を見合わせる状況になったことを想定し、新富士駅の上り本線および上り副本線にそれぞれ列車を停車させた後、停車中の列車間に渡り板を設置し、お身体の不自由なお客様も含めて、上り本線の列車からホームにご案内する訓練を行います。

1. 実施日時

2020年7月16日（木） 深夜

2. 場所

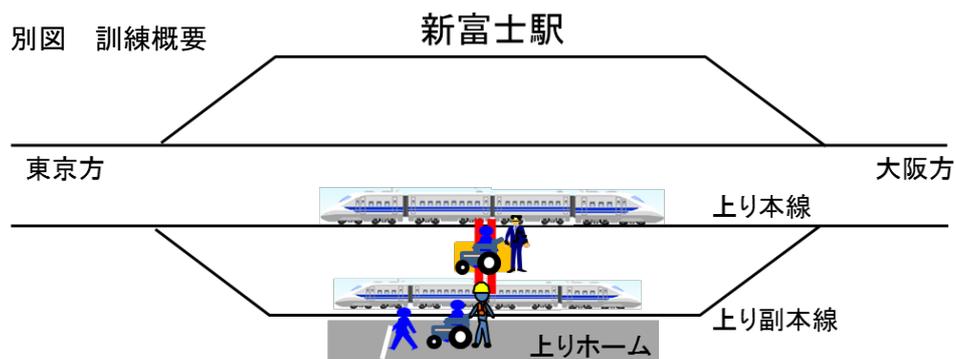
東海道新幹線 新富士駅

3. 参加者

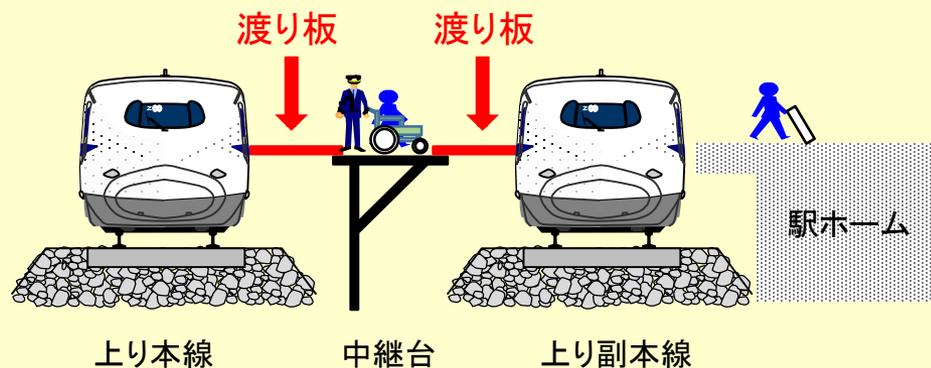
約100名（駅員、運転士、車掌、パーサー、設備保守担当者、管理部門の社員）

4. 訓練内容（別図参照）

- ・新富士駅の上り本線および上り副本線に、列車を停車させます。
- ・上り本線の列車から上り副本線の列車に渡り板を設置します。
- ・上り本線の列車にご乗車のお客様について、お身体の不自由なお客様も含めて、上り副本線の列車を経由してホームへ案内します。
- ・駅に出動した設備保守担当者も協力して、お客様のご案内を行います。



訓練風景(正面図)



- ・上り本線と上り副本線間に設置してある 中継台を介して、渡り板を設置

中継台



- ・線路間の距離が広い箇所に設置

幅の広い渡り板



- ・列車から中継台に向けて渡り板を設置
※写真は列車間に設置したもの